



助産師の関正節さん。子どもを取り巻く環境を変えたいとパワフルに活動しています(高知市池の高知医療センター)

「いのちの教育」県内浸透を

子育て応援ウェブメディア「ココハレ」のお薦めコンテンツを紹介する「ココハレピックアップ」。今回は「ココハレインタビュー」から助産師の関正節さんです。県看護協会で「いのちの教育」を進めています。

県看護協会(高知市朝倉)で1月、シンポジウムが開かれました。関さんは助産師職能委員長として、「医療、福祉、学



助産師・関さん(県看護協会)推進

つになりました。「助産師が自他を大切にすることまで伝えられるのか」と悩みました」

多職種連携の難しさも感じている関さんの支えは、生徒たちの感想です。「命を大切にします」「下の年代の子たちにも話してあげて」「子どもたちの思いを受け取り、「これは頑張らなきゃ」と思います」。

校、地域が一体となり、生きる力を育む活動を深めていきたくや地域で困っている課題を抽出し、解決に一歩踏み出せるように

関さんは主に病院の助産師とな授業をしたい」と決意。「看護して、育児と両立させながら不職が性教育を変えよう」と呼び妊症の認定看護師の資格を取掛け、2017年から活動を始まり、大学院に進むなどキャリアめました。

目指すのは、性の知識だけでなく、新生児集中治療室なく、自他を大事にすることを(NICU)の科長となった小学校から系統立てて伝える新頃、看護協会の出前授業で性教育の新しい性教育です。東京医療保健育に携わり始めました。

学校で性教育を行う際は、教員との打ち合わせが大切です。重ねました。大学の渡会睦子さんをアド

命の誕生や性感染症など要望に「県教委とつながり、出前授業の誕生や性感染症など要望に「県教委とつながり、出前授業の誕生や性感染症など要望に」

「自分と他者を大事にする話だ。少しずつ変わってほしい」と求められるよすが、まだまだ」

理想は、全ての子ともたちが「あなたは大事な存在」と大人に教えられ、見守られながら生きていける社会。「いのちの教育を通して、子どもを大事に育てる高知県にしたい」と挑戦を続けています。

(門田朋三)

イン子わ介
ハレでは携紹
ココハレをす
タビ支さんま
育てさい